

式 辞

すべてが芽吹く春の陽気に包まれた今日の佳き日、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和四年度福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」第三十六回入学式を挙げることは、職員一同この上ない喜びであり、本校職員を代表して厚くお礼申し上げます。

さて、本日、本校第三十六期生として入学された四十七名の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、本校の入学選考に自らの意志で挑戦し、見事合格し、この日を迎えられるました。

今日から、皆さんは、新しい先生方や仲間たちとともに将来の生活に必要な力を身に付けるための新たな学びや、寄宿舎という新たな環境での生活がスタートします。

皆さんは、卒業後の社会参加や職業的自立に必要な生活習慣や基礎的な能力・態度を身に付けるために、まず、第一学年では、「学校や寄宿舎での生活に慣れること」、「一緒に頑張り合える仲間を作ること」、「自分から進んでやるという意欲をもつこと」を目指して努力してほしいと思います。

これから、家庭を離れての生活には、期待と不安があるでしょうが、中学校や中学部で身に付けた力を発揮するとともに、互いに切磋琢磨し、学校生活や寄宿舎生活を意欲的に過ごしてほしいと願っています。

そして、私たちは、皆さん一人一人の「よさ」を見出し、伸ばし、その可能性を広げながら、卒業後に社会を生き抜いていくことができる力や自立するために必要な力を身に付けていくことができるように指導・支援を行っていきたいと考えています。

新入生の皆さん、今日からの一日一日、一瞬一瞬を大切にし、体験を一つ一つ積み重ねて、本校の校訓「希望・意欲・自立」の下、本校生徒として、これから大きく成長されることを期待しています。

高いところから恐縮でございますが、保護者の皆様にご挨拶申し上げます。本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本日よりお子様を本校の大事な一員としてお預かりします。職員一同力を合わせて、お子様の学校生活・寄宿舎生活の充実と、将来の自立と社会参加に向け、最大限の努力をして参る所存です。

学校と家庭とが手を携えて子どもたちをよりよく育てて参りたいと思いますので、保護者の皆様におかれましては、今後とも、本校への一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和四年四月七日

福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」校長 太田 信